

就職活動を振り返って

中日新聞社内定 村松秀規さん(文4)

「新聞記者として働きたい」という熱い思いで本命の中日新聞社に内定を得た村松秀規さん(文学部英語英米文学科4年次)に聞いた。

プロとの出会い

小中高と野球少年でポジションはピッチャー。「将来は高校の先生になり、野球を教えたい」。専大に入学当初は、そんな進路を頭に描いていた。転機は2年次に訪れた。イベントスタッフのアルバイトで、フリージャーナリスト、吉永匡宏さんに出会った。ペンとカメラで紛争地や辺境を自由に駆け巡る姿に圧倒された。

「今までなんて狭い世界を生きてきたんだろ」と。もっと世界を見なければ、とそれまで「ほとんど読まなかった」新聞、ルポや小説などを読みあさった。

3年次になっていよいよ就職活動というとき「新たな出会いがある新聞記者になりたい」と心に決めた。物おじしない性格で話し好き。自然と人が集まる明るい人柄。旺盛な好奇心と根性——それらが強みだ。



同社入社試験の作文テーマは「動」。被災地報道を例に、新時代のメディアのあるべき方向、新聞報道の重要性を書いた。

「役員面接で『多読』をアピールしましたが、うまく通じなくて。これはだめだと思いましたが、結果は最後の健康診断を経て「GO」。

何を学んだか

マスコミ受験で実感したのは「重要なのは何を学んできたかであって、大学名ではない」ということ。

武器は英語力。そしてもう一つ強力な武器がある。「多読法」で身につけた英語力だ。多読法は辞書に頼らず分からぬところは読み飛ばし、英語をそのまま理解する学習法。開始1年半でゼミ指導の黒沢真里子教授(アメリカの歴史と文化)も驚く250万語を読み、TOEICの点数を一挙に350点上げた。

就職課の講座に参加。人文・ジャーナリズム学科の友人に進路希望を話したところ「あの先生に相談するのいい」と紹介されたのが、朝日新聞の教授(ジャーナリズム講義)だった。藤森研究室に通って作文指導を受けた。

第一志望はブロック紙の中日新聞社。同社発行の東京新聞の原発報道や特報面を愛読していた。中日新聞も故郷(静岡県浜北市)でなじみが深い。

世界を見つめ「新聞記者になりたい」 背中を押してくれた恩師

就職支援プログラムに参加しよう

9月下旬に実施した第3回就職ガイダンス(3年次生対象)を皮切りに就職支援プログラムが本格始動しました。

学生諸君の講座への参加状況が思わしくありません。例年、即日満席となる就職合宿ですが、2週間が経過した時点でも若干の空席がありました。日本経済団体連合会の定めた日程に準じない企業も存在する中、就職課は、学生の皆さんに物足りなさを感じています。「まだいいかな」は禁物です。

11月中旬以降、「業界研究入門」「短期集中SPI試験対策講座」「見つけにくい企業の探し方」などを実施しますので、ぜひ参加してください。詳細は、就職支援システムSinetの掲示板に掲載します。この記事をお読みになったご父母・保護者の方からも「一言」後押しをお願いします。(就職課)

赤銅色の天体ショー



▲ 皆既月食となった直後の19時24分ごろ、生田キャンパスで風岡千智さん撮影。右に天王星が見える



▲ 東の上空を観測＝神田キャンパスでの見学会

皆既月食観測会

生田・神田両キャンパスで

皆既月食が全国で3年ぶりに観測された10月8日、生田・神田両キャンパスで観測会が開かれ、刻々と形を変える天体ショーを学生多数が楽しんだ。

皆既月食は、満月が地球の影に隠れて起こる現象。地球の大气によって、太陽からの光が屈折し、ぶりに観測された10月8日、生田・神田両キャンパスで観測会が開かれ、刻々と形を変える天体ショーを学生多数が楽しんだ。

皆既月食は、満月が地球の影に隠れて起こる現象。地球の大气によって、太陽からの光が屈折し、ぶりに観測された10月8日、生田・神田両キャンパスで観測会が開かれ、刻々と形を変える天体ショーを学生多数が楽しんだ。

皆既月食となった満月の近くで見ることができた。

授業が終わって駆けつけ、皆既月食を撮影した風岡千智さん(ネット情報3)は「満月は予想以上に赤い色をしていた。肉眼でもこんなによく見えるなんてびっくりした」と話していた。



成果発表会

課題解決型インターンシップ「ユニバーサルファッションショーと展示会」(アシエCHA CO)の成果を報告

キャリアデザインセンターが主催する「課題解決型インターンシップ」の成果発表会が11月2日、生田キャンパスで開催された。

会場には今年度実施された16テーマの活動を報告するポスターや成果物が展示された。発表した学生たちは6カ月間にわたる取り組みの成果を報告した。



鳳祭期間中ということもあり、150人を超える学生や関係者らが来場。

生田・神田両キャンパスでの見学会